地獄一面照子浄頗梨

へ13
2056
3

3
へ13 特
2056
3

口上

小野篁傳

篁ハ岑ノ守ノ長男。補参議ニ故
曰野相公。事父母至孝。
身ノ長六尺二寸博識能
書。輙往還冥府ニ八雲抄ニ云破
軍ノ星ノ化ノ身ト矣事迹詳ニ文德
實錄

是ヨリ
三途川

山山を
笠

四つ切
八角台

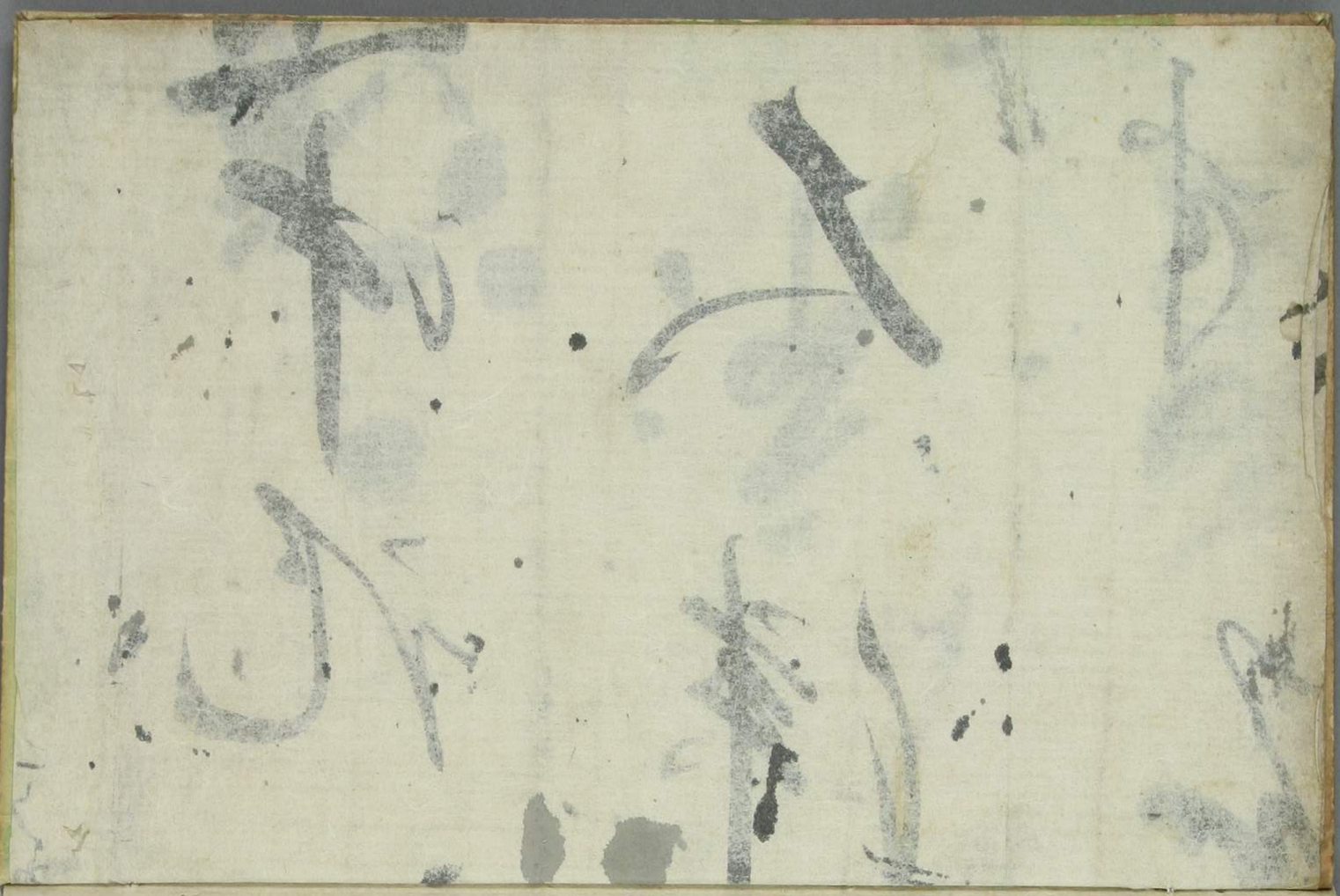
毎月
料二百
馬
ヤアハアア

他流
月の

銀
金

左大弁
従三位朝臣篁ハ
地獄の
一首の歌を

巳巳
政演画
京傳醉中作

肝落(きもおち)いむらぬ跋

或問(あるひとこういん)伊如(いにょ)ど無益(むやく)の妄作(もうさく)を成(なす)耶(や)余曰(よいはく)夫弥陀(ふみだ)を念(ねんぶつ)仏(ほとけ)成(なる)と欲(ほっする)者(もの)あり鈍(どん)挺(てい)なる捨(すて)て地獄(じごく)に通(かよう)と思(おもう)者(もの)有(あり)悉皆(しかいな)一筒(いつつ)の癖(へき)あり余(よ)嘗(かつて)戯作(げさく)を成(なす)も一癖(いちへき)あるを以(もって)盍(なぞ)以(もって)寶(たから)と傳(つたへ)幼童(ようどう)に誣(しいる)まじ衆(しゅう)大(だい)なりと雖(いへども)速(すみやか)に善(ぜん)を善(ぜん)と悪(あく)を悪(あく)とする故(ゆえ)に閻羅(えんら)王(おう)衣(ころも)を以(もって)予(よ)が舌(した)を抜(ぬく)といふ共(とも)是(これ)を恐(おそれ)まじ問者(とふもの)曰(いはく)唯(ゆい)唯(ゆい)と云(いふ)て退